

平成 31 年度 宇美町教育振興基本計画

平成 31 年 3 月策定



宇美町教育委員会

～ 教育振興基本計画の策定について ～

(1) 策定の趣旨

宇美町教育委員会では教育分野の基本計画の指針として、教育基本法第17条第2項に基づく「宇美町教育の基本指針」を定め、毎年度、当該指針に基づく具体的な数値目標を示した「宇美町教育施策要綱」を策定して、さまざまな取組を展開してきました。

そうした中、平成27年4月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、総合教育会議（首長と教育委員会で構成）において、地方公共団体の教育、学術及び文化振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本の方針を首長が定める「教育大綱」の策定が同法第1条の3で義務付けられました。

これにより、宇美町においては、平成27年12月に「宇美町教育大綱」を策定したことに伴い、宇美町教育委員会では、平成28年度から従来の「宇美町教育施策要綱」を改め、宇美町教育大綱に連動する「宇美町教育振興基本計画」を策定して、本町教育委員会が目指す教育の姿と施策の展開の方向性を示します。

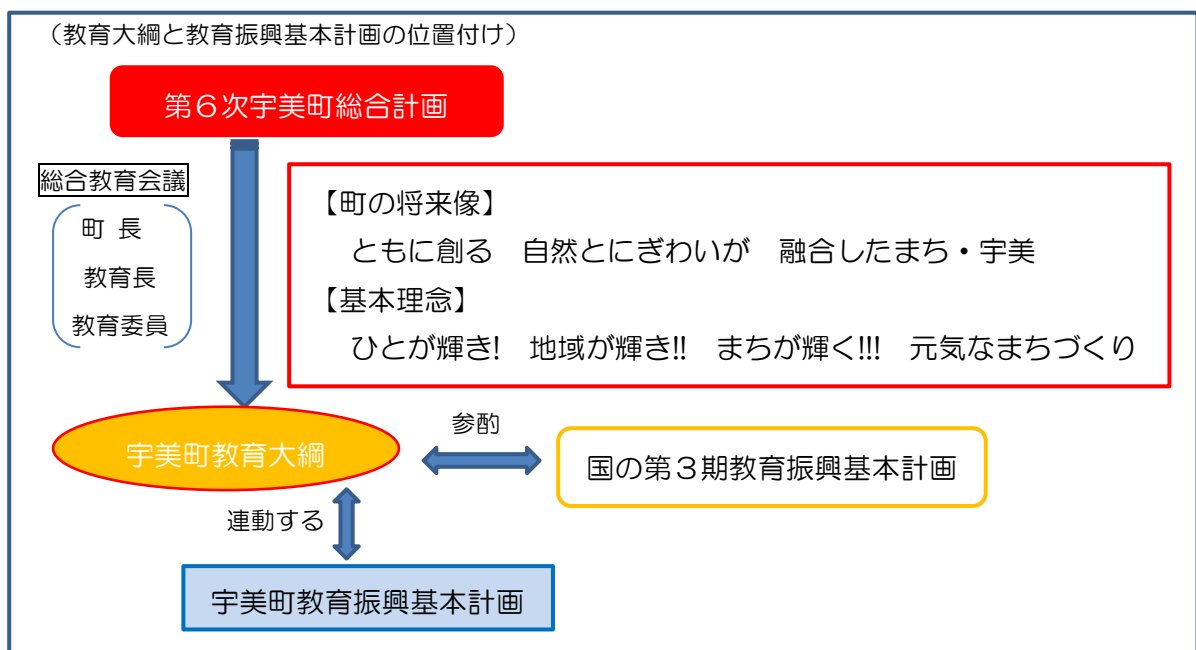
(2) 教育振興基本計画の位置付け

教育振興基本計画は、教育基本法第17条第2項に規定されている「地方公共団体における教育の振興のための基本的な計画」として策定するものです。

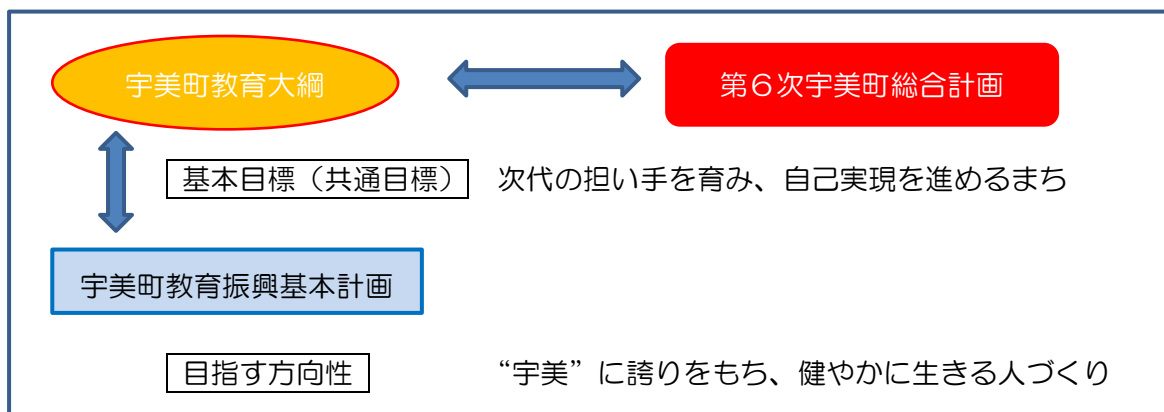
国では、平成25年6月に同法第17条第1項に基づき、我が国の今後の教育施策の方向性を示す「第2期教育振興基本計画（平成25年度～平成29年度）」が策定され、その後、「第3期教育振興基本計画（平成30年度～平成34年度）」に移行しています。

また、宇美町では、平成27年3月に、「ともに創る自然とにぎわいが融合したまち・宇美」を町の将来像として、平成27年度から8年間の目指すべき姿とこれを実現するための施策の方向性を示す「第6次宇美町総合計画」を策定しました。

「宇美町教育大綱」は、第6次宇美町総合計画を基に策定された本町の教育行政を推進するための基本方針であり、大綱に連動する教育振興基本計画は、大綱に定める基本施策をより具体化する計画として位置づけます。



第6次宇美町総合計画に掲げる8つの基本目標（政策の大綱）のうち、教育分野に関する基本目標を宇美町教育大綱における共通の基本目標とし、本計画の推進により、“宇美”に誇りを持ち、健やかに生きる人づくりに邁進します。



(3)教育振興基本計画の期間

教育振興基本計画の期間は、「宇美町教育大綱」と連動することを基本とします。宇美町教育大綱は、平成31年度から、第6次宇美町総合計画後期実践計画に移行することに伴い、平成31年3月に改訂されました。よって、この教育振興基本計画は、大綱の計画期間（平成31年度から平成34年度（4年間））とし、期間中、社会情勢等の変化を踏まえて、見直し等を行い、毎年度策定するものとしします。

平成（年度）	27	28	29	30	31	32	33	34
第6次宇美町総合計画	第6次宇美町総合計画（H27～H34） 【上位計画】							
	前期実践計画 （H27～H30） 〔4年間〕				後期実践計画 （H31～H34） 〔4年間〕			
宇美町教育大綱	宇美町教育大綱 （H27～H30） 〔4年間〕				宇美町教育大綱 （H31～H34） 〔4年間〕			
宇美町教育振興基本計画	宇美町教育振興基本計画 〔毎年度策定〕				宇美町教育振興基本計画 〔毎年度策定〕			

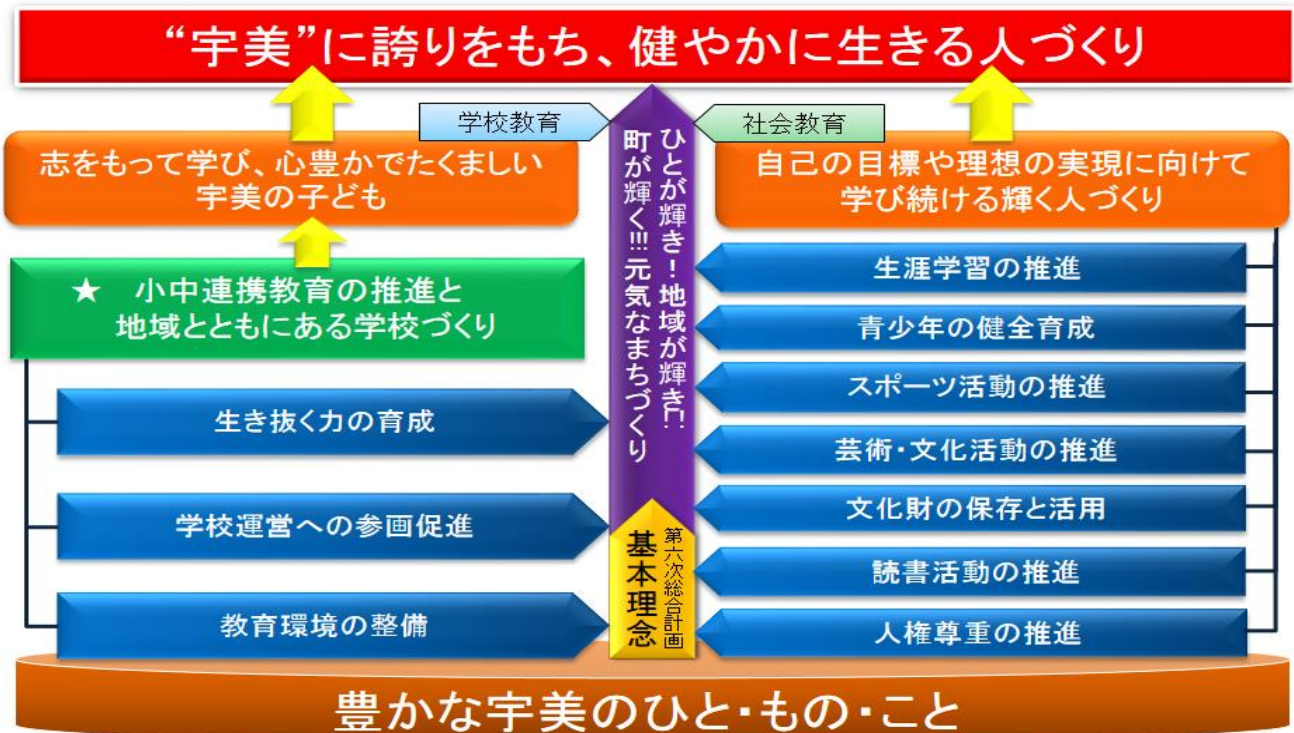
(4)教育振興基本計画の進行管理と評価

教育振興基本計画の基本目標に基づいて実施する基本施策については、その実現に向けた指標を設定し、定期的な点検とその結果の評価による進行管理を毎年度行います。

なお、毎年度の点検・評価については、翌年度の地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による点検・評価報告書を策定し、ホームページ等を活用して公表します。

また、指標を達成できなかった施策、指標の見直し等が必要な施策について次年度の計画に反映させ、宇美町の教育施策の更なる充実に努めます。

平成31年度宇美町教育グランドデザイン



宇美町教育の基本指針

宇美町は、「ひとが輝き！ 地域が輝き!! まちが輝く!!! 元気なまちづくり」を基本理念に掲げた第6次総合計画に則り、各施策を進めていきます。

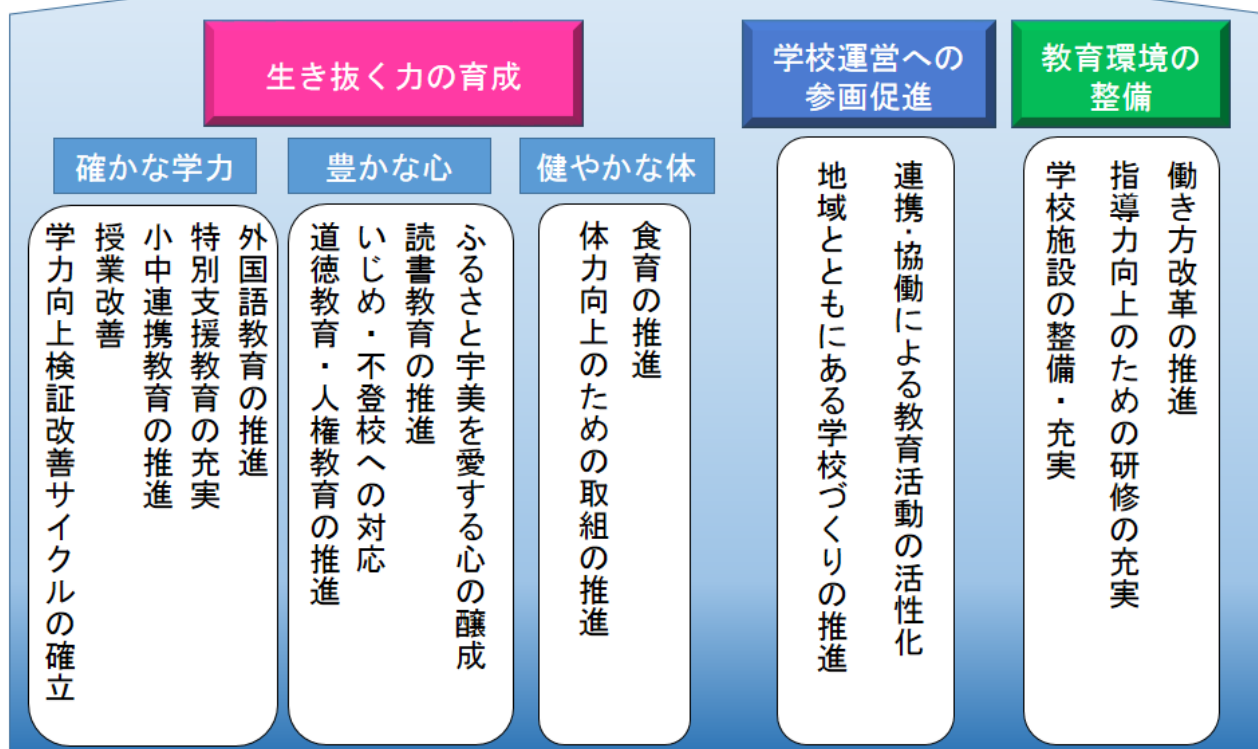
その方策として、まずは「ひとが輝く」ことを目指して、町民一人一人が自己実現に向けて学び続け、学んだ成果を地域やまちづくりに生かし、豊かな人間関係の中で自己をつくり出していけるよう、生涯学習を支援していきます。また、「地域が輝く」ことを目指して、町民一人一人の力が地域に生きる、より暮らしやすい魅力あるまちづくりを目指すため、町民と行政による共働のまちづくりを推進していきます。さらには、「まちが輝く」ことを目指して、町民一人一人が、豊かな自然、歴史的・文化的資源を最大限に活用し、にぎわいと活気を生み出すとともに、「住みたい・住んでよかった」と実感できるまちづくりを推進していきます。

このような基本理念の達成に向けて、学校教育においては、基礎的基本的な学力や自ら学び考える力などの「確かな学力」、他を思いやる心や郷土を愛する心などの「豊かな心」、たくましく生きるための「健やかな体」などの“知、徳、体”を包括する「生き抜く力」の育成、社会教育においては、全ての町民が生涯にわたって学び、楽しみ、その成果を地域に生かせる施策を推進するとともに、互いの人格を尊重し、支え合うことができる社会の実現に向けた取組を基本目標に掲げています。

宇美町教育委員会は、このような基本理念や基本目標に基づきながら、また、小中連携教育の推進と地域とともにある学校づくりを主要な手立てとしながら、学校教育では「志をもって学び、心豊かでたくましい子どもの育成」、社会教育では「自己の目標や理想の実現に向けて学び続ける輝く人づくり」、ひいては、「“宇美”に誇りをもち、健やかに生きる人づくり」に邁進していく所存です。

宇美の子どもを育む学校教育の推進

志をもって学び、心豊かでたくましい宇美の子ども



I 生き抜く力の育成

(1) 確かな学力の育成

施策1

学力向上検証改善サイクルの確立

具体的方策

- 各学校において、学力向上検証改善サイクルを確立し、学力向上プランを活用し、各種学力調査の問題分析・結果分析を行いながら、学校の特色・実態に応じて学力向上の取組を推進します。そのために、学力向上推進担当者研修会を計画的に実施し、各学校の学力向上に関する取組について情報共有を行います。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
学力向上推進担当者研修会の実施（年4回）	学校教育課	「全国学力・学習状況調査」における標準化得点（全国を100としたときの本町の結果）前年度比+2ポイント
検証改善ロードマップの作成・活用（年1回以上）	各学校	
学力向上プランの加筆・修正（年3回以上）	各学校	

施策2

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

具体的方策

- 学習指導要領の改訂を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進し、子どもの資質・能力を育成します。また、児童生徒による授業評価を実施したり、児童生徒の学力の実態を把握したりしながら、一人一人の児童生徒が「わかった」「できた」を実感することができる学習指導を推進します。
- 学力向上支援員を配置し、意図的・計画的な少人数指導・習熟度別学習・T T指導によって、児童生徒の学力向上を目指します。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
児童生徒による授業評価の実施 (年2回以上)	各学校	質問紙において「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」:
少人数指導の実施 100%	各学校	肯定的回答 75%以上

* 質問紙・・・全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙

施策3

小中連携教育の推進

具体的方策

- 小中学校9か年間を通して確かな学力を身に付けるための指導の具体的方法及び学び方等について研究する全員研修会を実施し、その成果を実践に生かしながら小中連携教育を推進します。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
全員研修会の実施(年2回)	学校教育課	教職員へのアンケート「役立つ研修になっている」: 3.2ポイント以上

施策4

特別支援教育の充実

具体的方策

- 特別支援教育担当者等研修会を実施し、各学校において特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育の推進を図るとともに、授業研修を通して専門性の向上を図ります。
- 各学校に特別支援教育支援員を配置し、児童生徒への個別の支援の充実を図ります。
- 特別な教育的支援を必要とする子どもについて保護者や関係諸機関と連携し、個に応じたよりきめ細やかな指導を行います。また、組織的・計画的に就学支援を行います。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
特別支援教育担当者等研修会の実施（年4回）	学校教育課	個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・活用 100%
特別支援教育支援員の配置（全学校）	学校教育課	
教育支援委員会の計画的な実施（各学校ごと）	学校教育課	
就学前保護者向け就学学習会の実施（年2回）	学校教育課	
校内特別支援教育委員会の計画的な実施（年10回以上）	各学校	

施策5
外国語教育の推進

具体的方策

- グローバル化が急速に進展する社会において必要な外国語によるコミュニケーション能力の向上を図るために、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた小学校外国語活動及び外国語科、中学校外国語科の学習指導の充実を推進します。そのために、ALT（外国語指導助手）の派遣を充実させ、教職員とALTの連携による授業を展開します。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
全学校への外国語指導助手の派遣	学校教育課	質問紙「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」： 小学校 70%、中学校 60%（参考：平成 29 年度）

(2) 豊かな心の育成

施策6
道徳教育・人権教育の推進

具体的方策

- 道徳教育及び人権教育を教育活動全体で推進し、道徳的実践力の向上や人権意識・人権感覚の醸成を推進することによって、自他を大切にする子どもを育てます。
- 宇美町立小中学校がめざす子どもの姿「う・み・し・ぐ・さ（傾聴・黙働・挨拶・立腰・奉仕）」をもとに、挨拶指導、清掃指導、学習規律等の徹底を通して、自尊感情や規範意識の高揚を目指します。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
道徳科に関する校内研の実施（年1回以上）	各学校	保護者や地域を対象とした道徳科公開授業の実現
うみしぐさに関する項目を含む児童生徒・保護者・教職員アンケートの実施（年2回以上）	各学校	質問紙「自分には、よいところがあると思いますか」 小学校 80% 中学校 75%、「学校のきまり（規則）を守っていますか」：小学校 85% 中学校 90%

施策7

いじめ・不登校への対応

具体的方策

- 「いじめに関するアンケート調査」や「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート（hyper-QU）」及び教育相談を計画的に実施して実態を把握し、いじめを積極的に認知して、早期発見・早期対応に努めます。
- 不登校の未然防止、不登校兆候を示す児童生徒の早期発見・早期対応、不登校児童生徒へのきめ細やかで継続的な支援を組織的・継続的に行います。また、適応指導教室（くすのき教室）、教育相談室、SSW（スクールソーシャルワーカー）及び各学校との連携を強め、様々な悩みに対応する教育相談・支援体制の充実を図ります。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
児童生徒へのアンケート、教育相談の実施（毎月）	各学校	認知したいじめへの早期対応 100%
適応指導教室指導員・SSW・教育相談員の配置	学校教育課	マンツーマン対応 100%
各学校における各種研究会での関係諸機関職員活用回数（年2回以上）	各学校	

施策8

読書教育の推進

具体的方策

- 「学校司書・司書教諭合同研修会」等の研修会を充実させ、学校図書館と町立図書館との連携を深めるとともに、「宇美町図書館を使った調べる学習コンクール」を実施することで、学校図書館・町立図書館の利用を促進します。
- 本に親しむことができるように、教育活動の中に教師・ボランティア等による読み聞かせ活動や「読書タイム」等を積極的に取り入れ、読書習慣の定着を図ります。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
学校司書・司書教諭合同研修会の実施（年3回）	学校教育課	調べる学習コンクール
教育課程に位置付けた調べる学習の実施 （全学校：中学3年は任意）	各学校	提出率（中学3年除く） 全児童生徒の90%
読書タイムの実施（全学校）	各学校	平均読書冊数の増加

施策9

ふるさと宇美を愛する心の醸成

具体的方策

- 地域の教育文化財を活用した教育活動を推進するための職員研修や、郷土教育の推進のための人材及び副読本「わたしたちの宇美」を活用し、郷土“宇美”の歴史、文化、自然を知り、それらに親しみ、愛情を深め、ひいては郷土に進んで貢献しようとする子どもを育成します。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
町内新規赴任者対象の文化財研修の実施（年1回）	学校教育課	質問紙「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」： 小学校 65%、中学校 60%
副読本「わたしたちの宇美」の活用 100%	各小学校	

(3) 健やかな体の育成

施策10

体力向上のための取組の推進

具体的方策

- 体力向上プランを充実させ、体力づくり一校一取組を推進します。また、体育の授業をはじめとして健康教育に係る教科・領域の授業改善を推進するとともに、子どもが主体的に体力づくりのための活動に取り組める教育課程の充実を図ります。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
一校一取組の実施（年1回以上）	各学校	スポコン登録：小学校 100%
町内スポコン記録会の実施	学校教育課	

施策11

食育の推進

具体的方策

- 学校における食育の推進のため、各教科や領域の学習時間を通じて、食に関する取組を進めます。また、学校給食運営検討委員会を実施するとともに、各学校において「弁当の日」を実施して、学校と家庭が連携した食育を実践し、食育の充実を図ります。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
学校給食運営検討委員会の実施（年 17 回）	学校教育課	質問紙「朝食を毎日食べている」80%
弁当の日の実施（年 3 回）	各学校	

2 学校運営への参画促進

施策 1 2 地域とともにある学校づくりの推進

具体的方策

- 学校は主に学力の向上を、家庭は主に基本的な生活習慣や働く力の育成を、地域は主に人間関係力の育成に力を注ぐとともに、互いの役割と責任を果たすことができるよう、相互の連携及び協働の推進に努めます。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
学校教育推進協議会の実施（年 2 回）	学校教育課	質問紙「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか」： 肯定的回答 75%以上
学校訪問の実施（各学校 1 回）	学校教育課	
CS に関する教務担当主幹教諭研修会の実施	学校教育課	
保護者同席の規範意識育成学習会の実施（年 1 回以上）	各学校	

* CS…コミュニティスクール

施策 1 3 連携・協働による教育活動の活性化

具体的方策

- 学校運営協議会を生かして、学校の特色化や活性化を推進します。また、校区コミュニティとの連携を深め、教育活動の充実を図ります。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
学校運営協議会の実施（年 3 回以上）	各学校	学校と地域が連携・協働して行う教育活動の実施：全学校で年 3 回以上
学校運営協議会への参画（各学校 1 名）	学校教育課	
連携・協働による取組の発信（年 3 回以上）	各学校	

3 教育環境の整備

施策14

学校施設の整備・充実

具体的方策

- 教育委員会と学校とが「学校施設評価」を行うとともに、建物調査を基に中長期的な学校保全計画を立て、安全性を確保し、必要な改修を計画的にすすめます。
- 学校で安心して学習に集中できる環境づくりのために空調機器の設置を進めます。また、情報活用能力の育成や学ぶ意欲の向上、学習理解の定着のために授業で有効に活用できるICT環境の整備をすすめます。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
学校施設評価の実施（年回）	学校教育課	施設の不備による児童生徒の事故ゼロ
施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）の策定	学校教育課	
学校安全点検の実施（毎月）	各学校	
空調機器設置（普通教室・特別教室）	学校教育課	
ICT環境整備（パソコン教室機器等更新・プロジェクター整備）	学校教育課	大型テレビや実物投影機を活用した授業をした職員70%以上

施策15

指導力向上のための研修の充実

具体的方策

- 小中連携や小小・中中連携など、学校間連携を推進して、人材育成を推進するとともに、教職員としての識見を広げる研修の充実を図ります。
- 福岡教育大学との連携事業を活用するなど、専門性の高い講師を招聘することで、教職員としての実践的指導力を高め、各学校の課題に応じ、児童生徒の実態に応じた学校力の向上を目指します。
- より一層の指導力向上が期待される教職員に対して、授業参観等を通して個別の教職員のニーズや課題に応じた研修を推進します。
- 教員の服務義務を確実に果たすために、不祥事防止に関する研修を推進します。
- 各学校で管理職及び主幹教諭等による校内OJTを推進し、教職員の経験や能力に応じた人材育成研修の推進・充実をすすめます。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
町内の教職員を招聘して行う校内研の実施（年2回以上）	各学校	校外で指導をした教職員：各学校 2名以上
学校課題別研修会の実施（年2回以上）	各学校	
個別講座の実施（年間20回以上）	学校教育課	
新規採用者・臨時的任用職員対象の研修会実施（年2回）	学校教育課	不祥事ゼロ
不祥事防止に関する研修会や啓発の場の設定 （月1回以上）	各学校	
校内OJTを行う組織や仕組みの整備（全学校）	各学校	校内OJTの実施：各学期1回以上

施策16
働き方改革の推進

具体的方策

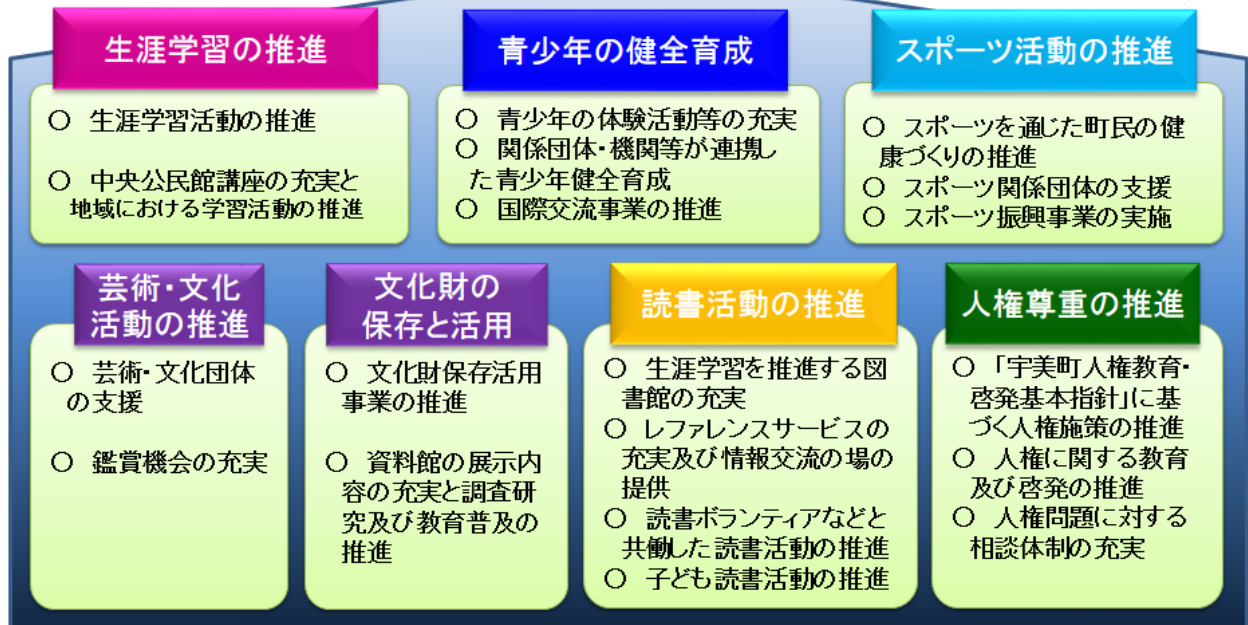
- 教職員の勤務実態を把握し、管理職による指導・改善を推進します。また、ノー部活デイや学校閉庁日、定時退校日を確実に実施するとともに、教職員の長時間勤務を是正するために、環境の整備に努めます。

指 標

取組指標	取組の主体	成果指標
タイムカードの運用（全学校）	各学校	年次休暇、時間休暇取得率の向上
定時退校日の計画的な実施	各学校	
ノー部活デイの実施（週2日）	各学校	

学び続ける輝く人づくりをめざす社会教育の推進

自己の目標や理想の実現に向けて学び続ける輝く人づくり



1 生涯学習の推進

具体的方策

- 市民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習活動を推進します。
- 生涯学習コアゾーン「ふみの里まなびの森」を学びの中核として、施設を有効に活用しながら、学習活動の推進を図ります。
- 中央公民館講座の事業を継続するとともに、地域における学習活動を推進します。
- 中央公民館などを利用して、子どもから大人まで参加できる各種講座を実施します。また、地域や学校などに学習支援者の提供を行うとともに自己の特技や学習した内容を提供することができる人材を育成します。

2 青少年の健全育成

具体的方策

- 子どもたちに多様な体験活動や学習の場を提供することで、自主性・主体性・創造性の確立を図るとともに、家庭や学校、地域がそれぞれの特性を活かした連携を図り、地域の教育力向上に努めます。
- ふみの里まなびの森フェスタにおける少年少女の主張大会や子ども体験ブースの実施により、子どもたちに多様な体験活動や学習の場を提供します。

- 青少年の健全育成を図るため、関係機関・団体と連携し、青少年の非行や犯罪被害の予防と抑止を図ります。
- 国際交流事業を通じ、国際相互理解と国際友好親善の促進を図るため「サピ少年団招請」事業を実施します。
- 青少年の非行や犯罪被害の予防のため関係課と連携を図り、放生会の巡回パトロールの実施や、コンビニエンスストアやゲームセンター等への立入調査を行います。
- 「サピ少年団招請」事業として、宇美町において韓国扶餘との3泊4日の学生交流事業を実施します。また、交流事業を充実させるために事前研修を行います。

3 スポーツ活動の推進

具体的方策

- 町民が気軽に参加できる各種スポーツ大会を検討するとともに、スポーツ施設等の情報提供を行い、スポーツ活動を推進します。
- スポーツ協会、スポーツ少年団、NPO法人「ふみの里スポーツクラブ」の支援に努めるとともに、町民の自主的なスポーツ活動の活性化を図ります。
- 国・県などから情報を収集し、「スポーツを始めるきっかけ」となるスポーツ振興事業の充実を図ることで、町民の運動能力の向上に努めます。
- スポーツ協会及び校区コミュニティと連携し、町民参加型のスポーツ大会へ事業を検討することで、スポーツ活動の推進を図ります。
- 各団体の事業が円滑に実施できるように、広報活動や施設利用等の支援などを行います。また、校区コミュニティ参加型へ移行します。
- 幅広い年齢層を対象とした体力測定会を実施し、自分の体力を知るとともに、スポーツに親しむ習慣を身につけることで、町民の運動能力の向上に努めます。

4 芸術・文化活動の推進

具体的方策

- 文化協会をはじめとした文化団体の支援に努めます。
- 鑑賞機会の充実を図り、文化活動の推進に努めます。
- 芸術文化団体の運営が円滑に実施できるように、広報活動等の支援を行います。
- 「町民文化のつどい」を継続します。

5 文化財の保存と活用

具体的方策

- 文化財の事前審査及び調査研究を実施し、文化財の適正な保存に努めます。また、伝統民俗芸能などの無形文化財についても、その保存・伝承に努めます。
- 文化財の活用について、地域文化の理解を深めるため、学校や地域への文化財保護啓発活動や展示など文化財に対する普及活動を通じて、町民の意識向上を図ります。
- 開発に伴う土地の造成に際し、埋蔵文化財事前審査及び調査を行います。また、宇美神楽保存会の運営支援いたします。
- 関係機関(他市町等)と連携し、各種事業を後援するとともに、歴史民俗資料館での展示活動の充実に努めます。

6 読書活動の推進

具体的方策

- 町民の幅広い学習ニーズに対応するために、町民の生涯学習を推進する図書館の充実を図ります。
- レファレンスサービスの充実を図るとともに、課題解決サービスを促進します。
- 図書館や学校・地域などで活動する読書ボランティアと、情報交流や相互に協力し合う関係づくりをすすめ、共働した読書活動を推進します。
- 図書館を核としながら学校(園)・家庭・地域などが連携して子どもの読書活動を推進します。
- 資料の刷新や資料・情報コーナーの充実を図るとともに、生涯学習関連事業との連携を強めます。
- 図書館職員研修を計画的に実施するとともに、課題に応じた資料・情報の収集、提供に努めます。
- 読書ボランティア養成講座を開催するとともに、おはなし会をボランティアと共働開催するなどの取組を継続します。また、読書ボランティア団体連絡会議を開催します。
- 子どもが様々な場所で本と出会えるように、地域や保育園などでの読書の拠点づくりを支援するとともに、主体的に読書活動を進める小・中学生の育成に努めます。

7 人権尊重の推進

具体的方策

- 「宇美町人権教育・啓発基本指針」に基づき、人権施策を総合的に推進します。
- 宇美町人権教育推進協議会を中心に関係団体と連携しながら、様々な機会を通じて、人権教育及び人権啓発の推進を行います。

- 人権に関する教育及び啓発を推進し、人権教育関係団体への連携を図ります。
- 人権擁護委員及び関係機関及び団体と連携し、人権問題に関する相談体制の充実に努めます。
- 7月の宇美町人権問題啓発講演会をはじめとする各種月間での街頭啓発の実施や研修会に積極的に参加することを呼びかけ、人権が尊重される教育及び啓発の充実に努めます。
- 当事者の立場に立ったきめ細やかな相談活動ができる体制を整え、問題の早期解決に向けた自立支援や人権擁護などの取組の充実に図ります。

社会教育施策に関する指標

1 生涯学習の推進

指 標	指標の概要	目標値（平成31年度）
○中央公民館講座の充実	中央公民館講座への受講者数 チャリティクラブ I・II、いきいき講座、家庭教育講座	延べ人数 900人
○学習支援者派遣事業の充実	地域や学校等への派遣指導者数	延べ人数 380人

2 青少年の健全育成

指 標	指標の概要	目標値（平成31年度）
○青少年体験教育の推進	ふみの里まなびの森フェスタ（子ども体験学習及び少年少女の主張大会等）の来場者数	体験学習ブース 750人 少年少女の主張大会 160人
○青少年の健全育成	非行や犯罪被害の予防と抑止のための、町内店舗立入調査回数	年2回
○青少年国際交流事業の実施	「サピ少年団招請」事業の参加者数	20人

3 スポーツ活動の推進

指 標	指標の概要	目標値（平成31年度）
○町民スポーツ大会の構築	校区コミュニティ事業も踏まえ町民スポーツ大会を構築する	1事業/校区コミュニティ
○社会教育施設等を利用したスポーツ活動の状況	社会教育施設等及び学校施設の利用状況 グラウンド等（学校開放含む）16箇所 体育館等（学校開放含む）11箇所	利用件数 延べ 15,000件/年 利用人数 延べ290,000人/年
○スポーツ振興事業への参加	町民体力測定会の参加者数	延べ100人/年

4 芸術・文化活動の推進

指 標	指標の概要	目標値（平成31年度）
○芸術・文化団体の支援	文化協会会員数	400人
○鑑賞機会の充実	芸術文化関係事業の参加者数	3,000人

5 文化財の保存と活用

指 標	指標の概要	目標値（平成31年度）
○文化財の保存活用の推進	文化財専門委員会議の開催回数	年3回
○歴史民俗資料館の展示内容の充実と調査研究及び教育普及の推進	歴史民俗資料館の来館者数	8,000人

6 読書活動の推進

指 標	指標の概要	目標値（平成31年度）
○図書館の充実	町民一人当たりの貸出点数	年5.5点
○レファレンスサービスの充実及び情報交流の場の提供	レファレンスサービス等職員研修の実施回数 利用者の求めに応じた情報の提供、又は情報源の指示、提供の件数	年4回 レファレンス利用件数 3,000件／年
○読書ボランティアなどと共働した読書活動の推進	読書ボランティアと共働で開催するおはなし会の回数	年48回
○子ども読書活動の推進	子ども（18歳以下）の貸出点数	約45,000点

7 人権尊重の推進

指 標	指標の概要	目標値（平成31年度）
○人権施策の総合的推進	宇美町人権教育推進協議会の開催回数	年3回
○人権に関する教育の推進	宇美町人権問題啓発講演会の参加者数	300人
○人権に関する啓発の推進	啓発活動の実施回数	年3回